

第13回 ルネサンス・宗教改革

- 1 A 14世紀のイタリアにはじまり、16世紀までにヨーロッパ各地に広まった古典文化復興の運動を何というか。 ルネサンス
- 2 A ギリシア・ローマの古典のなかに人間性尊重の思想を認め、中世カトリック的世界観からの人間解放を求めようとする思想を何というか。 人文主義(ヒューマニズム)
- 3 A 個性の尊重を求める運動は、人間のかぎりない可能性を信じ、多彩な分野において能力を発揮する人間を理想としたが、このような人間像を何というか。 万能人(普通人)
- 4 B トスカナ方言による『神曲』を著して、ヨーロッパ国民文学およびイタリア＝ルネサンスの先駆者となったフィレンツェ出身の詩人は誰か。 ダンテ
- 5 C ギリシア・ローマの古典の研究によって古典復興運動の先駆者となった、『カンツォネーレ』の作者で知られる人文主義者は誰か。 ペトラルカ
- 6 B 人間の欲望や感情を肯定し、その姿を赤裸々に描いた『デカメロン』で知られるイタリアの小説家・人文主義者は誰か。 ボッカチオ
- 7 C 人間性を積極的に肯定するとともに宇宙の無限を主張し、その合理的精神のゆえにガリレオも注目したドイツの神秘主義哲学者は誰か。 ニコラウス＝クザーヌス
- 8 C 「人は欲しさえすれば、自分の力で何事でもできる」と語った、博学多芸のイタリアの天才は誰か。 アルベルティ
- 9 A 『モナリザ』や『最後の晩餐』などの芸術作品とともに、解剖学や建築学にまで業績を残したルネサンス期の代表的天才は誰か。 レオナルド＝ダ＝ヴィンチ
- 10 A 『ダビデ像』『最期の審判』のほか、サン＝ピエトロ大聖堂の設計など、彫刻・絵画・建築の多方面に活躍したルネサンス期の天才は誰か。 ミケランジェロ
- 11 A 肖像画や聖母子画のほか『アテネの学堂』でも知られる、ルネサンスの三大天才のひとりといわれた人物は誰か。 ラファエロ
- 12 A すべての哲学と宗教とのなかに唯一の真理があらわれるとして諸思想の融合をめざすとともに、『人間の尊厳について』によって人間の本性をその自由意志に求めたルネサンス期の人文主義者は誰か。 ピコ＝デラ＝ミランドラ
- 13 A 混乱するイタリアの統一のために、あるべき君主像を求めて近代的政治学の端緒を開いたフィレンツェの政治家・歴史家は誰か。 マキャヴェリ
- 14 B 君主たるものは権力の獲得・維持のためには手段を選ばず、権謀術数を用いるべきとして、キリスト教道徳から政治を切り離れたマキャヴェリの著作を何というか。 『君主論』
- 15 A ギリシア・ローマの古典に精通し、硬直化したカトリック教会を痛烈に批判してルターに大きな影響をあたえたオランダの人文主義者は誰か。 エラスムス
- 16 B この世は愚かな神に支配されているとして、当時の知識人層に痛烈な皮肉を浴びせかけたエラスムスの著書は何というか。 『愚神礼賛』
- 17 B 社会不安を生み出していた囲い込み運動を厳しく批判し、あるべき社会の姿を描いたイギリスの人文主義者は誰か。 トマス＝モア
- 18 B 私有財産制度のない、平等で幸福な理想社会を描いたトマス＝モアの作品を何というか。 『ユートピア』
- 19 C 『ハムレット』や『マクベス』などの人間性に対する深い洞察に富む作品を発表した、イギリス＝ルネサンス期の劇作家は誰か。 シェイクスピア
- 1 A 16～18世紀にかけて、日常生活のなかで鋭い人間観察と内省によって人間の生き方を探求したフランスの思想家たちを何というか。 モラリスト
- 2 A ボルドー市の評議員を勤めるかたわら、読書と内省の生活のなかで著述活動を行った16世紀のフランスのモラリストは誰か。 モンテーニュ
- 3 A 人間理性や学問や宗教など、人間に関するさまざまな問題を、自己吟味をふくめて考察したモンテーニュの随筆を何というか。 『エッセー(随想録)』
- 4 B ソクラテスの影響を受けて、独断と先入観を排しようとしたモンテーニュの立場を表明することばは何というか。 「われ何をか知る(ク・セ・ジュ)」
- 5 C 一般には真理の絶対性に対して疑問を投げかけることであり、モンテーニュにおいては中世スコラ哲学の独断に対する彼の立場をしめすことばを何というか。 懐疑論

6 A	自然科学者としての目と敬虔なクリスチャンの目をもって宇宙と人間をみつめ、卑小な人間も考えることにおいて偉大となると説いたフランスの物理学者・モラリストは誰か。	パスカル
7 A	新しい科学的自然観と従来からのキリスト教的真理とのあいだの矛盾のなかで、揺れ動く人間の心と信仰の問題を綴ったパスカルの著書を何というか。	『パンセ(瞑想録)』
8 B	偉大と悲惨、無限と虚無とのあいだを揺れ動く人間のあり方を、パスカルは何と表現したか。	中間者
9 A	人間は宇宙に比べれば弱く卑小な存在であるが、しかし、自らの卑小と悲惨を自覚するがゆえに偉大であるということをしめすパスカルのことばは何というか。	考える葦
10 C	人間精神にはデカルト的な演繹的・幾何学的精神と宗教や芸術を理解する場合のような直観的な精神作用があるが、パスカルは後者の精神を何というか。	繊細の精神
1 A	16世紀のヨーロッパに広がった、ローマ＝カトリック教会の腐敗と墮落に対する批判と改革の運動を何というか。	宗教改革
2 A	ローマ＝カトリック教会に反発し、それから分離・独立したキリスト教の立場を何というか。	プロテスタンティズム
3 B	ローマ＝カトリック教会からのイギリスの宗教的・政治的独立を主張したイギリスの神学者は誰か。	ウィクリフ
4 B	ウィクリフの考えを継承してローマ＝カトリック教会を批判し、コンスタンツ宗教会議で異端とされて火刑に処せられたボヘミアの神学者は誰か。	フス
5 A	ローマ＝カトリック教会が発行した罪の免除に関する証書に対して疑問を投げかける意見書を発表し、宗教改革の発端をつくったドイツの神学者は誰か。	ルター
6 A	「キリスト者はすべてのものの上にたつ自由な主人であって、何人にも従属しない」ということばで知られるルターの著書は何か。	『キリスト者の自由』
7 A	サン＝ピエトロ大聖堂改修のため、ローマ＝カトリック教会が発行した罪の免除を認める証書を何というか。	贖宥状(免罪符)
8 A	1517年、ヴィッテンベルク大学付属教会の扉にルターが貼りだした、贖宥状に関する問題提起の書を何というか。	『95カ条の論題(意見書)』
9 A	パウロの考えを継承し、人は信仰によってのみ義とされるというルターの考えを何というか。	信仰義認説
10 B	信仰のよりどころを教会や僧侶といった外的権威に求めるのではなく、聖書にのみ求める立場を何というか。	聖書主義
11 A	信仰においてすべての人は神と向かいあうのであり、その意味では誰もが聖職者であるというルターの考えを何というか。	万人司祭説
12 C	聖餐に関する考え方でルターと決別はしたが、チューリッヒの宗教改革を指導し、カトリックとの戦いで戦死したスイスの改革者は誰か。	ツヴィングリ
13 A	祖国フランスを追われ、ジュネーヴに入ってその改革を指導したフランスの宗教改革者は誰か。	カルヴァン(カルヴィン)
14 A	この世のすべては絶対的権威をもつ主権者たる神が決定されているという考えを展開した、カルヴァンのキリスト教改革に関する著書を何というか。	『キリスト教綱要』
15 C	ジュネーヴでカルヴァンが行った、神の権威にもとづく厳格な道徳政治を何というか。	神権政治
16 A	人間の運命や救いは人間の働きかけとは関係なく、すでに神によってあらかじめ決定されているという考えを何というか。	予定説
17 B	ジュネーヴで宗教改革運動に従事した福音主義・予定説・厳格な規律など、人物の考えにもとづく宗教的立場を何というか。	カルヴァン主義
18 B	イギリス国教会の改革を不満とする、イギリスのカルヴァン主義を何というか。	ピューリタニズム
19 A	ルターもカルヴァンも職業は神からあたえられたものであると考えたが、この神からあたえられた職業(天職)を何というか。	召命
20 A	ルターもカルヴァンも職業は神からあたえられたものであると考えたが、この考え方にたつ職業観を何というか。	職業召命観

- 21 A カルヴァン主義にもとづく職業倫理が近代資本主義の精神を形成したとして、『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』を著したドイツの社会学者は誰か。 マックス＝ヴェーバー
- 22 C ルネサンス期の万能人に対して、宗教改革期にあらわれた人間像を何というか。 職業人
- 23 C 宗教改革の影響を受けて、カトリック内部に生まれた改革運動を何というか。 反宗教改革
- 24 B イグナティウス＝デ＝ロヨラを中心として、軍隊的規律によって海外伝道を使命とした、カトリック改革の中心的役割を担った修道会を何というか。 イエズス会